

千人堂は姫島の北西の観音崎に位置している。島の独特の灰色の黒曜石が露出した、海の上にある絶壁に位置していて、この小さな建物はまた別の姫島の七不思議の一つである。島の伝説によれば千人の人々が地元の領主に税を納めるのを避けるためここに隠れることができたということである。その小さな建物からは隠れた浜辺と火山の火口を見渡せる。ミサゴがその絶壁の出っ張りのところに巣を作っている。かつては黒曜石を求めて採掘されたが、絶壁は今では国指定の天然記念物とされており、そのような活動から保護されている。